

全3回 13,200円(税込) 定員 35名 最低開講人員10名 申込締切 10月16日

引き続き、リズムに楽しくアプローチします。春学期を復習しつつ、まだ触られていない部分、更なる応用部分へと話を敷衍して行きます。唱歌、演歌、歌謡曲、ポップス、現在のヒットチャートナンバーまでを追い、その曲の特徴となっているリズムを楽しみます。難しい用語は使いません。奮ってご参加くださいませ。

※受講者は各自、「しゃべって歌って味わって覚える リズム基礎講座」(音楽之友社、税込1,760円)を用意してください。

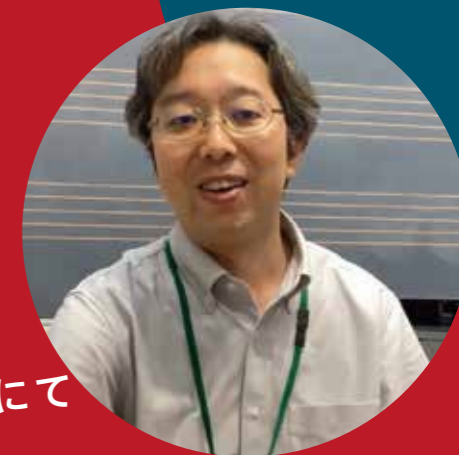


高橋 千佳子 先生

東京藝術大学作曲科卒業。同大学院ソルフェージュ科修了。作曲を池内友次郎、矢代秋雄、永富正之、間宮芳生、松村禎三の諸氏に、ピアノを谷康子女史に、また伴奏法をアンリエット・ビュイグ＝ロジェ女史に師事。国立音楽大学、東京藝術大学及び同附属高校、日本大学芸術学部、東京音楽大学の講師を経て、現在、東京音楽大学附属高校講師。成城ソルフェージュ研究会代表、日本ソルフェージュ研究協議会理事。また、1977年よりCM作曲に携わり、ヒット作は明石家さんまのキッコーマン・ぼんずしょうゆ「しあわせって何だっけ?」。著書に『ドレミでみつける名曲のヒミツ』『しゃべって歌って味わって覚える 基礎講座』(音楽之友社)、『たのしいリズムパーティー 1、2巻』『ぶっぶるのリズムカード』『いちばんやさしい3歳からのソルフェージュ、5歳からのソルフェージュ』(ヤマハM.E.H.)など。

※各教員方のプロフィールは2026年5月現在のものです。

学びの場 社会人の 東京音楽大学



音楽大学でより本格的に“学びたい・学び直したい”
社会人の方々を対象に、中目黒・代官山キャンパスにて
「社会人の学びの場」を開講しています。

お申込先



<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/51347.php>

社会連携部事業課

shakaijin2@tokyo-ondai.ac.jp

☎ 03-3982-3324

お申込み及び注意事項について

- ・先着順で受け付けます。お申込みいただいた場合でも、すでに定員満了となっており、お断りする場合があります。なお、定員に満たない講座は開講しない場合もあります。
- ・受講料のお支払いについては、各講座の申込締切日以降にメールでご案内いたします。
- ・講座の内容、開催日時等は都合により変更となる場合があります。
- ・受講料お振込後、または講座途中のキャンセル、返金は致しかねます。
- ・お申込み後に受講受付連絡をメール配信します。お申込み内容をご確認ください。
- ・すべての講座は日本語で行います。
- ・機材を使用する講座は、使用料が含まれております。

講座開催場所

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス

〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1

ACCESS



JR 「恵比寿駅」より徒歩14分

私鉄 東急東横線「中目黒駅」「代官山駅」より徒歩5分

地下鉄 日比谷線「中目黒駅」より徒歩約5分



2026年度 秋学期 全7講座

- 01 地域展開への移行期の吹奏楽活動に役立つ編曲のスキルを身につけよう
- 02 創作への誘い
～自分のピアノ曲を作ってみませんか? 初めて曲を作る方の為の～
- 03 ピリオド楽器と当時のファクシミリ楽譜より学ぶ、バロック音楽・器楽の地域の様式
- 04 即興的ピアノ演奏のススメ
～小さな素材から音楽を発展させる楽しみ～
- 05 分析によって得られる解釈からより深い表現へ!
～ベートーヴェンの中期と後期のピアノソナタ～
- 06 中国の文人音楽——琴楽、糸竹楽
- 07 しゃべり言葉からリズムを手に入れよう

シリーズⅧ

講座番号 01 地域展開への移行期の吹奏楽活動に役立つ編曲のスキルを身につけよう 9月26日・10月24日・11月28日 土曜 14:00-15:30

全3回 13,200円 (税込) 定員 35名 最低開講人員10名 申込締切 9月5日

部活動の地域展開の動きが本格化しています。そのなかで特に吹奏楽活動の地域展開は独特の難しさを持っています。そもそも外部講師と部活動指導員の違いとはなにか。地域活動化した吹奏楽に生じる編成的・実力的アンバランスさでどのように演奏を実現させるのか。この講座では、上記の問題について考え、小編成への編曲法、フレキシブル譜の活用法を学びます。現役で吹奏楽指導の現場に携わる方に向けた講座です。



中橋 愛生 先生

作曲家。これまでに日本音楽コンクール作曲部門第三位、日本管打・吹奏楽学会アカデミー賞(作編曲部門)などを受賞。現在、東京音楽大学教授、国立音楽大学・日本大学芸術学部各講師、日本バンドクリニック委員会顧問、日本管打・吹奏楽学会理事、21世紀の吹奏楽“響宴”実行委員、日本音楽芸術学会正会員。2008年4月よりNHK-FM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ、2024年4月より東京佼成ウインドオーケストラ楽員も務めている。

講座番号 02 創作への誘い ~自分のピアノ曲を作ってみませんか?初めて曲を作る方の為の~ 10月13日・10月20日・10月27日 火曜 18:30-20:00

全3回 19,800円 (税込) 定員 20名 最低開講人員7名 申込締切 9月22日

近年大人になってからピアノを始める方や、子供の頃に習っていて、また再開される方が増えてきました。過去の名曲を演奏することも大きな楽しみですが、そこにもし自分のオリジナル曲を加えることが出来れば、今までとは違った音楽世界が開かれるのではないでしょうか。ベートーヴェン、ショパン、リストなど偉大な作曲家達も演奏することから始め、ピアノ作品を作り、そこから様々な作品へと幅を広げて行きました。難しい曲でなくても自分の曲を作り演奏する事によって、作品に対する見方にも変化をもたらすと思います。実習をしながら作曲の基礎を体験する講座ですので、初歩的な楽曲の演奏経験がある方を対象とします。



喜久 邦博 先生

ピアノ曲及び吹奏楽曲の作編曲を多く手掛け今日に至る。ピティナ・ピアノコンペティション、カワイこどもピアノコンクールの課題曲として多くの作品が選定され、たくさんの子供達に演奏されている。またヤマハ音楽振興会指導スタッフとして、講師の育成研修業務、グレード関連講座及び試験官、優秀生徒の発掘育成、JOC(ジュニアオリジナルコンサート)の制作ディレクションなど、多岐にわたる業務に携わり現在に至っている。東京音楽大学、大阪芸術大学、ヤマハ音楽院各講師。日本作曲家協議会会員。

講座番号 03 ピリオド楽器と当時のファクシミリ楽譜より学ぶ、バロック音楽・器楽の地域的様式 10月16日・10月23日・10月30日 金曜 18:30-20:00

全3回 13,200円 (税込) 定員 35名 最低開講人員10名 申込締切 9月25日

リコーダー、フラウト・トラヴェルソ奏者として長年演奏活動に勤しんでおりますが、幸いにも所有している18世紀ヨーロッパのオリジナル管楽器を基に、いわゆる時代に即したピリオド楽器、及び当時の譜面などから、ヨーロッパ各国のバロック音楽演奏様式を器楽に焦点を当てて、実際の音色、ピッチ、調律調性論などを判り易く解説して、その時代の音楽の奥深さを皆さんと共に学んでいきたいと思っています。



吉澤 徹 先生

東京音楽大学声楽科卒業。声楽を竹村靖子、故鈴木寛一、リコーダーを大竹尚之、W.v.ハウヴェ、フラウト・トラヴェルソを故中村忠氏に師事する。在学中第5・6回全日本リコーダーコンクールにおいて優秀賞、'88 CBS SONYニューアーティストオーディションにおいてFM東京賞を受賞。その後、90年代半ばに相前後して縦・横のオリジナル楽器を入手して以後、楽器と対峙・研究し、製作にも関わる等独自の研鑽を積み、公演、録音等の他、指揮者、指導者として活動している。後年歴史カル・ファゴットも手掛け、鈴木禎氏に師事する等、積極的に研鑽・活動の幅を広げている。2016年より始めた第5日曜室内楽ライブ「Bonus Track」は既に25回を重ね、好評を博している。現在、東京音楽大学・大学院非常勤講師。

講座番号 04 即興的ピアノ演奏のススメ ~小さな素材から音楽を発展させる楽しみ~ 10月17日・11月7日 土曜 16:00-17:30

全2回 13,200円 (税込) 定員 20名 最低開講人員7名 申込締切 9月26日

春期の講座では、シンプルな和音進行を軸として基礎的な即興を実践しました。今回はさらに一步踏み込んで、小さな音楽素材(モチーフや音列)をもとに即興でさまざまな音楽に発展させていきます。モチーフをどのように料理するか?リズムとハーモニーの味付け、アーティキュレーションのスパイスを効かせるなど、可能性は無限にあります。ピアノの名曲から、作曲家たちの音楽語法を真似してみる実験も。遊び心を持って色々な即興を試してみましよう。



渚 智佳 先生

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、東京藝術大学大学院修了。全日本学生音楽コンクール全国大会高校の部、園田高弘賞ピアノコンクール等にて優勝。東京都交響楽団、チェコ・フィル八重奏団等と共演。全音ピアノ教則本CDでは「ソナタ・アルバム」「ツェルニー50番」始め20タイトルを超える録音を行なう。ヤマハ音楽振興会にてピアノ指導法講座や教材編纂・録音に携わる。演奏活動の傍ら作編曲も手掛け、R. シュトラウス「英雄の生涯」吹奏楽編曲版を出版。現在、東京音楽大学准教授、ヤマハ音楽研究所研究員。

講座番号 05 分析によって得られる解釈からより深い表現へ!(シリーズVIII) ~ベートーヴェンの中期と後期のピアノソナタ~ 10月19日・10月26日・11月2日 月曜 18:30-20:00

全3回 13,200円 (税込) 定員 35名 最低開講人員10名 申込締切 9月28日

この講座では昨年の秋学期にベートーヴェンの初期のピアノソナタを取り上げました。今回は傑作の森と呼ばれる中期と、ロマン派を身近に感じる後期のピアノソナタを分析し、初期の作品に見られるベートーヴェンの音楽に対する命題が中期と後期に花開く様子を解析します。ベートーヴェンのピアノソナタを弾いた事がある、またはよく聴いている方に特に有意義な講座ですが受講条件ではありませんので、積極的な参加をお待ちしています。受講者は各自、楽譜を用意して下さい。(分析予定の曲は本学ホームページ参照)



照屋 正樹 先生

東京藝術大学音楽学部作曲科及び同大学院音楽研究科作曲専攻卒業。現在、東京藝術大学名誉教授、東京音楽大学非常勤講師。主要著書:「楽典~音楽の基礎から和声へ」(アルテスパブリッシング刊、共著)。「フォルマシオン・ミュージカル教育法によるティーチングプラン」(東京藝術大学出版会刊)

講座番号 06 中国の文人音楽——琴楽、糸竹楽 10月24日・10月31日・11月21日 土曜 16:00-17:30

全3回 13,200円 (税込) 定員 35名 最低開講人員10名 申込締切 10月3日

数千年の歴史を有する中国の音楽史に於いて、神楽と世俗音楽が存在していた。神楽は即ち祭祀、敬神の時に使われるものである一方、世俗に於いても様々な形での音楽が楽しまれていた。世俗音楽に於いては庶民的なものがある一方、教養のある文化人(俗称文人)だけが嗜む雅趣の趣向を持つものもある。本講座は、主に文人たちに好まれた琴楽や糸竹楽の実演を含めながら、皆さまと一緒に楽しんでいきたいという内容になっております。ご参加を心よりお待ちしております。



王明君 先生

上海出身。北京中央音楽学院を経て中国音楽学院を卒業。卒業と同時に国家最年少記録で専任講師に任命される。85年来日し、東京藝術大学大学院修士課程(音楽学)修了。これまで、東京交響楽団、広島交響楽団、旧新星日本交響楽団、北京中央楽団、上海交響楽団など多くのオーケストラと共演。99年、文化庁主催のコンサートでは天皇、皇后両陛下の御前で演奏を行う。03年には自作王明君 先生 曲「星光」で民音芸術大賞を受賞。日本ではこれまで7枚のCDを発表。現在、昭和音楽大学客員教授、東京音楽大学非常勤講師。